

ドイツ語（初級 A）／A ドイツ語 第 7 回 冠詞類、ja - nein - doch

範囲：教科書第 4 課（S. 19-21）

《今回の基本例文》

15. Das ist die Meinung dieses Professors. (CD20-3)

それはこの教授の説である。

[**定冠詞型**（指示代名詞）**dieser**]

16. Ich gebe meinem Sohn meine Kamera. (CD22-3)

私は息子に自分のカメラをあげる。

[**不定冠詞型**（所有代名詞）**mein**、（3 格目的語と 4 格目的語をとる動詞）]

17. Haben Sie Kinder? – Nein, ich habe keine Kinder. (CD23-3)

あなたには子供がいらっしゃいますか？ – いいえ、私には子供はおりません。

[**不定冠詞型**（**否定冠詞**）**kein**]

18. Ist das ihr Schlüssel? – Nein, das ist nicht ihr Schlüssel. (CD24-3)

これは彼女の鍵かな？ – いや、これは彼女の鍵ではないよ。

[**否定辞** **nicht**]

19. Habt ihr heute keine Schule? – Doch, wir haben heute Schule. (CD25-3)

君たちには今日、学校はないの？ – いや、今日は学校があるんだよ。

[**否定疑問文に肯定で答える際の** **doch**、（**不定冠詞型** **kein**）]

I 冠詞類：dieser 型（定冠詞型）と mein 型（不定冠詞型）

A. 冠詞類：dieser 型と mein 型 (S. 19)

■ 冠詞類について

名詞について修飾する語のうち、

- ・ 定冠詞と似た変化：**定冠詞型**（**dieser** = *this/that* のような**指示代名詞**など）
- ・ 不定冠詞と似た変化：**不定冠詞型**（**mein** など**所有代名詞**や **kein** = *no* など）

◇ ドイツ語では、名詞にくっついて修飾する要素はすべて格変化する。そのような名詞への付加語としては、これまで定冠詞と不定冠詞の変化を扱ったが、それ以外にもたくさん存在する（英語でいえば *this* や *that*、*such*、*all*、あるいは *my* や *your* のような**所有代名詞**など）。それらは**冠詞類**と総称され、

- ・ 定冠詞と似た変化をするもの：**定冠詞型**（ないし**定冠詞類**）
- ・ 不定冠詞と似た変化をするもの：**不定冠詞型**（ないし**不定冠詞類**）

に分けられる。代表的な語から、定冠詞型は **dieser 型**、不定冠詞型は **mein 型**ともいう。

* **dieser** は英語の *this* や *that* に相当。教科書第 2 課では *this* や *that* にあたる語として **das** を学習した (S. 12) が、これは主語として単体で使用するものだった。**dieser** は、*this pen* のように名詞の付加語として使う *this* や *that* と考えればよい。

** **mein** は英語の *my* に相当する**所有代名詞**。

1 dieser 型 (または定冠詞型)

定冠詞型 = OO + -er
(語幹) (語尾)

◇ 定冠詞型 (dieser 型) の格変化は、もちろん定冠詞から考えればよい (丸暗記する必要はない)。定冠詞 **der** の変化表から語尾のみ抜き出すと、以下のようになる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-e	-as	-e
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	-as	-e

* ただし、例によって **die** からは **e** を抜き出すこと (-ie ではない)。

定冠詞型はこれに準じた変化をするので、基本的には各語尾の **-er** の部分に定冠詞の変化表の語尾を代入すればよい。ただし、

・ **-as** (中性 1 格、中性 4 格) の部分 → **-es** に

なることに注意。すると、下表のような格変化になる。ここに、各定冠詞型の語幹 (前述) を加える。

* **dieser** なら語幹は **dies-** である。

	男性	女性	中性	複数
1 格	-er	-e	-es	-e
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	-es	-e

◇ 定冠詞型には、下記のようなものがある。

- ・ 指示代名詞 : **dieser** (この、= *this* や *that*)、**jener** (あの)、**solcher** (そのような、= *such*)
- ・ 不定代名詞 : **jeder** (各々の、= *every*)、**aller** (すべての、= *all*)
- ・ 疑問代名詞 : **welcher** (どのような、どちらの、= *which*)

* **welcher** の詳しい使い方は、教科書 S. 42 であらためて扱う。

2 mein 型 (または不定冠詞型)

◇ 不定冠詞型の格変化は、もちろん不定冠詞から考えればよい (やはり丸暗記する必要はない)。不定冠詞 **ein** の変化表から語尾のみ抜き出すと、以下のようになる (無語尾は○で表す)。

	男性	女性	中性
1 格	○	-e	○
2 格	-es	-er	-es
3 格	-em	-er	-em
4 格	-en	-e	○

不定冠詞型 (**mein** 型) は、これをそのまま適用すればよく、不定冠詞 **ein** の部分を **mein** その他に変えてやればよい。ただし、不定冠詞には複数形がなかったため、複数の列のみ定冠詞型を踏襲する。すると、下表のような格変化になる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	○	-e	○	-e
2 格	-es	-er	-es	-er
3 格	-em	-er	-em	-en
4 格	-en	-e	○	-e

◇ 不定冠詞型のうち一つは、「誰々の」を示す**所有代名詞 (所有冠詞)**である。

	単数 (英語)	複数 (英語)
1 人称	mein (<i>my</i>)	unser (<i>our</i>)
2 人称	dein (<i>your</i>)	euer (<i>your</i>)
2 人称 (敬称)	Ihr (-)	
3 人称	sein (<i>his</i>)	ihr (<i>their</i>)
	ihr (<i>her</i>)	
	sein (<i>its</i>)	

2 人称の敬称 **Sie** に対する所有代名詞は **Ihr** と、やはり語頭を大文字にすることに注意。

* ihr や Ihr に注意。女性 3 人称、複数 3 人称、敬称 2 人称の 3 つのパターンがある。

◇ 不定冠詞型のうちもう一つは、**否定冠詞**の **kein** (いかなる～もない) である。kein は英語の *no* と考えてよいが、もう少し用法が広く、詳しくはのちほどあらためて扱う。(⇒教科書 S. 28)。

~~~~~  
 > Haben Sie eine Uhr? - Nein, ich habe **keine** Uhr? (不定冠詞付き名詞の否定)

> 「時計を持っていますか?」「いいえ、時計を持っていません」

> Haben Sie Geld? - Nein, ich habe **kein** Geld. (無冠詞の名詞の否定)

> 「お金を持っていますか?」「いいえ、お金を持っていません」

> \* 現時点では、不特定の名詞(無冠詞や不定冠詞付き)を否定するときは **kein** を用いる、と考えておけばよい。

> Er sieht die Ampel **nicht**. (定冠詞付き名詞の否定)

> 彼はその信号を見ていない。

> \* 一方、特定の名詞(定冠詞、所有代名詞、指示代名詞付き)を否定するときは **nicht** を用いる。**nicht** は名詞について格変化する要素ではないことに注意。

~~~~~  
 ◇ 不定冠詞型の変化表は、いま説明した考え方によりすべて再現できるが、初心者にはわかりづらいものもある。本資料 S. 5-6 にすべての変化表をつけておくので、そちらも参照のこと。

練習問題の補足

Übung 1 (S. 19)

2, 3. もちろん、2 格の場合、冠詞類がついても後置修飾することには変わらない。また、男性 2 格や中性 2 格の名詞には -s ないし -es がつくのも同じ(複数 3 格には -n がつく)。

教科書 Übung 2 (S. 20)

2. Eltern は「両親」で、英語の *parents* と同じく複数形でしか存在しない名詞。ほか、複数形でしか存在しない名詞としては、Ferien (学校の休暇、発音注意) などがある。

II 決定疑問文の答え方: ja - nein - doch

B. ja - nein - doch (S. 21)

■ 決定疑問文に対する返事

否定疑問文に肯定で答える → doch

◇ 決定疑問文に答えるとき、**ja** と **nein** のほか、**doch** という返事も使用する。**否定疑問文**に際しては、日本語の「はい」や「いいえ」はもとより英語の *yes* と *no* の使い分けとも一致しない。公式は次の通り。

		ドイツ語	(英語)	日本語
肯定疑問文に	肯定で答える	ja	<i>yes</i>	はい
	否定で答える	nein	<i>no</i>	いいえ
否定疑問文に	肯定で答える	doch	<i>yes</i>	いいえ
	否定で答える	nein	<i>no</i>	はい

わかりやすく言えば、**否定疑問文に肯定で答えるときは doch を使う。**

* 日本語と英語で否定疑問文に対する答え方が逆になるのは周知の通り。ドイツ語の場合、その英語ともまた事情が異なる。

◇ 否定疑問文には、**nicht** のみならず、先ほど学習した **kein** を用いた文も含む。

Ist es draußen nicht kalt? (否定疑問文)

戸外は寒くはないですか?

* 天候や気象を言うときに使用する主語 *es* を用いている。英語の *It is cold.* の *it* と同じ。詳しくはのちほど扱う。

(⇒教科書 S. 57)

- **Doch**, es ist kalt. (肯定で答える場合)

いいえ、寒いです。

- **Nein**, es ist nicht kalt. (否定で答える場合)

はい、寒くありません。

Haben Sie keinen Hunger? (否定疑問文)

お腹はすいていませんか?

* **nicht** ではなく **kein** が使われているのは、**Hunger** が無冠詞だから。(⇒本資料 S. 3)

- **Doch**, ich habe Hunger. (肯定で答える場合)

いいえ、お腹がすいています。

- **Nein**, ich habe keinen Hunger. (否定で答える場合)

はい、お腹がすいていません。

練習問題の補足

Übung 1 (S. 21)

3. Schule は「学校 (*f.*)」だが、「授業」を示す場合もある (日本語の「今日は学校がある/ない」と同様の語法)。

参考 冠詞類の変化表

(1) 定冠詞型

◇ **dieser** (この)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	dieser	diese	dieses	diese
2 格	dieses	dieser	dieses	dieser
3 格	diesem	dieser	diesem	diesen
4 格	diesen	diese	dieses	diese

(2) 不定冠詞型

◇ **mein** (私の)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	mein	meine	mein	meine
2 格	meines	meiner	meines	meiner
3 格	meinem	meiner	meinem	meinen
4 格	meinen	meine	mein	meine

◇ **dein** (君の)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	dein	deine	dein	deine
2 格	deines	deiner	deines	deiner
3 格	deinem	deiner	deinem	deinen
4 格	deinen	deine	dein	deine

* dein の格変化は、mein から簡単に導出できる (m を d に変えるだけでよい)。

◇ **sein** (彼の/その)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	sein	seine	sein	seine
2 格	seines	seiner	seines	seiner
3 格	seinem	seiner	seinem	seinen
4 格	seinen	seine	sein	seine

* sein の格変化も、mein から簡単に導出できる (m を s に変えるだけでよい)。

◇ **ihr** (彼女の/彼らの)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	ihr	ihre	ihr	ihre
2 格	ihres	ihrer	ihres	ihrer
3 格	ihrem	ihrer	ihrem	ihren
4 格	ihren	ihre	ihr	ihre

* dein や sein に比べて戸惑うかもしれないが、これも考え方は同じ (mein 自体に ihr を代入する)。

** 女性 3 人称の ihr (彼女の) も複数 3 人称の ihr (彼らの) も、格変化は同じ。

◇ **Ihr** (あなたの)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	Ihr	Ihre	Ihr	Ihre
2 格	Ihres	Ihrer	Ihres	Ihrer
3 格	Ihrem	Ihrer	Ihrem	Ihren
4 格	Ihren	Ihre	Ihr	Ihre

* 上記 ihr の語頭を大文字にすると、敬称 2 人称の Ihr の格変化となる。

◇ **unser** (我々の)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	unser	uns(e)re	unser	uns(e)re
2 格	uns(e)res	uns(e)rer	uns(e)res	uns(e)rer
3 格	uns(e)rem	uns(e)rer	uns(e)rem	uns(e)ren
4 格	uns(e)ren	uns(e)re	unser	uns(e)re

* unser の格変化は、たまたま語尾が -er であるため、定冠詞型 (dieser 型) と間違えやすいので注意を要する。しかし、ほかの所有代名詞と同じく不定冠詞型 (mein 型) である。迷ったらこの変化表を見ること。

** e の重複を避けるため、括弧書きした e を省く変化形もある。いまは定石通り、e を入れたものを覚えておけばよい。

◇ **euer** (君たちの)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	euer	eu(e)re	euer	eu(e)re
2 格	eu(e)res	eu(e)rer	eu(e)res	eu(e)rer
3 格	eu(e)rem	eu(e)rer	eu(e)rem	eu(e)ren
4 格	eu(e)ren	eu(e)re	euer	eu(e)re

* euer の格変化も、やはり語尾が -er であるため、定冠詞型 (dieser 型) と間違えやすいので注意を要する。しかし、こちらも不定冠詞型 (mein 型) である。迷ったらこの変化表を見ること。

** やはり e の重複を避けるため、括弧書きした e を省く変化形もある (euer の場合は省く方が普通)。もともと、いまは定石通り、e を入れたものを覚えておけばよい。

◇ **kein** (いかなる～もない)。

	男性	女性	中性	複数
1 格	kein	keine	kein	keine
2 格	keines	keiner	keines	keiner
3 格	keinem	keiner	keinem	keinen
4 格	keinen	keine	kein	keine

* kein の格変化も、dein や sein と同様、mein から簡単に導出できる (m を k に変えればよい)。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>